



Young Coordination Chemists' Association of Japan

錯体化学若手の会



URL: <http://www.sakutai.jp/yccaj/>
X (旧 Twitter) ID: @sakutai_wakate

錯体化学若手の会ニュースレター 2024年度 第1号

目次

1. 2024年度事務局よりご挨拶
2. 開催案内：錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校2024」
3. 開催案内：錯体化学会第74回討論会 企画シンポジウム
4. 開催案内：共催企画「錯体化学ホームカミングデー」
5. 開催案内：各支部勉強会
6. 錯体化学若手の会 2023年度会計および会員状況報告
7. 会員の最新論文紹介
8. 錯体化学若手の会 入会のご案内

発行 事務局 深津 亜里紗 (大阪公立大学) E-mail: [fukatsu\[at\]omu.ac.jp](mailto:fukatsu[at]omu.ac.jp)

錯体化学若手の会事務局 (2024年度)

代表：深津 亜里紗 (大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻)

大阪府堺市中区学園町1-1

E-mail: [fukatsu\[at\]omu.ac.jp](mailto:fukatsu[at]omu.ac.jp) TEL: 072-254-9812

会計：松岡 亮太 (大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻)

E-mail: [matsuoka.ryota.es\[at\]osaka-u.ac.jp](mailto:matsuoka.ryota.es[at]osaka-u.ac.jp)



問い合わせフォーム

錯体化学若手の会ニュースレター、ウェブサイトおよびメールニュースへの記事掲載については、若手の会問い合わせフォーム (<https://goo.gl/forms/u0RhXuK0cjsq9m3O2> または上記 QR コード) よりご連絡ください。

※ メールアドレスはいずれも[at]を @ に変えて下さい

1. 2024年度事務局よりご挨拶

大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 深津 亜里紗

2024年度の錯体化学若手の会事務局は、代表：深津 亜里紗（阪公大）、会計：松岡 亮太（阪大）、次年度事務局：三澤 智世（上智大）、ならびに監事：矢野 なつみ（島根大）の4名で担当させていただきます。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

昨年度はコロナ禍も大分落ち着き、徐々に以前の日常が戻ってまいりました。若手の会の活動についても、対面での夏の学校や勉強会、特に懇親会を伴う対面イベントが積極的に行えるようになり、コロナ禍で希薄になっていた全国あるいは近隣地域の若手研究者間の交流が再び活発になったことと思います。

本年度は、実に5年ぶりの合宿形式の夏の学校が開催される運びとなりました。実行委員会の皆様をはじめ、関係各所の皆様のご尽力に大変感謝申し上げます。参加される皆様にとっては、寝食を共にした仲間たちとの交流は何ものにも代え難い財産になることと思います。これをきっかけに、同世代の若手研究者間の交流を深めていただき、錯体化学分野を大いに盛り上げていただければ幸いです。

錯体化学若手の会では、この数年間コロナ禍で対面での交流が制限される中、Slack や X（旧 Twitter）などを用いたオンラインで交流できる枠組みについて、試行錯誤しながら取り組んでまいりました。これらについては、対面で気兼ねなく交流できるようになった現在でも、多忙な日常の中で気軽に接することのできるツールとして、引き続き活用してまいりたいと考えております。皆様におかれましても、対面イベントで知り合った仲間たちとの日常的なコミュニケーションツールなどとして、積極的にご活用いただけたら幸いです。

とはいえ、「何をしたら良いの？」と思われる方も多いかもしれません。この度、事務局では錯体化学若手の会 問い合わせフォームのリニューアルを行いました。ここから、「Slack への参加」「イベントの告知」、「最近発表した論文の紹介」などが簡単に行えるようになっています。このニュースレターの表紙の下部に URL と QR コードを載せておりますので、是非一度フォームをご覧ください、お気軽にご活用いただければ幸いです。まだ出来立てホヤホヤのフォームのため至らぬ点もあるかと存じますので、「フォームでこんなことをできるようにしてほしい」などといったご要望がありましたら、是非事務局までご連絡ください。その他事務局に対するご要望なども随時受け付けておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。

なお、論文紹介や第2号以降のニュースレター配信、世話人会議の議事録閲覧は、若手の会会員限定コンテンツとなっておりますので、本年度の継続手続きを行っていない学生会員の皆様は是非継続をお願いいたします。

至らない点多々あるかと存じますが、皆様の研究活動の一助となるべく精一杯努めてまいりますので、1年間どうぞよろしくお願申し上げます。

2. 開催案内：錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校2024」

名古屋大学 大学院工学研究科 応用物質化学専攻 日下 心平

錯体化学若手の会夏の学校2024は、鳥羽シーサイドホテルにて2泊3日で開催いたします。本年度はコロナ明け初の合宿形式での開催となります。多くの皆様と対面で交流できることを目指して準備を進めております。皆様のご参加を世話人一同お待ちしております。

日 程： 2024年6月26日（水）午後～6月28日（金）正午頃

会 場： 鳥羽シーサイドホテル（三重県鳥羽市：<https://www.tobaseasidehotel.co.jp/>）

定 員： 140名程度（状況に応じ、定員になり次第締め切り）

【参加登録費】

錯体化学会、錯体化学若手の会または日本化学会会員：一般37,000円、学生27,000円

非会員：一般38,000円、学生28,000円

（宿泊費および6月26日夕食、6月27日朝夕食、6月28日朝食）

【懇親会およびエクスカージョン】

6月26日および6月27日夜に懇親会を、6月27日午前にエクスカージョンを実施予定。

【講演】

野崎京子先生（東京大学）、田中大輔先生（関西学院大学）、正岡重行先生（大阪大学）、
砂田祐輔先生（東京大学）、中村貴志先生（筑波大学）、張中岳先生（熊本大学）、
森本祐麻先生（東京工業大学）

その他、学生講演とポスターセッションを予定

【問い合わせ先】

日下 心平（名古屋大学大学院工学研究科）

E-mail: [shinpei.kusaka\[at\]chembio.nagoya-u.ac.jp](mailto:shinpei.kusaka[at]chembio.nagoya-u.ac.jp)（[at]を@に変えてください）

3. 開催案内：錯体化学会第74回討論会 企画シンポジウム

大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻 松岡 亮太

2024年9月18日から20日まで開催される錯体化学会第74回討論会のシンポジウムにて、若手の会主催の下記のセッションを開催します。今回は「反転対称性の破れ」をテーマに、化学分野でご活躍されている先生だけでなく、主に日本物理学会や応用物理学会の方でご活躍されている先生数名にもご登壇いただき、最新の研究成果を語っていただきます。錯体化学というきっかけを通じ、最先端の物理と化学を融合することでどのようなイノベーションを起こせるかを議論したいと思います。化学分野の学会ではめったに聞けない話もあろうかと思えます。ぜひ奮ってご参加くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

○主題

「反転対称性の破れが導く物理と化学の交差点」 ※日本語セッション

○日時・場所

2024年9月18日(水)、錯体化学会第74回討論会 会期中シンポジウム S3

場所：岐阜大学または長良川国際会議場（未定）

○開催責任者

・松岡亮太 大阪大学

Email: matsuoka.ryota.es[at]osaka-u.ac.jp

○趣旨説明文

空間反転対称性または時間反転対称性、あるいはその両方が破れた系は、磁気秩序、強誘電性などから始まり、非相対的光学効果、マルチフェロイクスなど、非常に多彩かつ魅力的な物性発現の場となっている。磁性金属イオンやキラル分子を多く扱う錯体化学者は、この分野を切り拓く大きなポテンシャルを有しているといえる。反転対称性の破れを利用した新たなサイエンスの開拓には、物理学者の物性・現象に対する深い理解力と、化学者の新物質開発力をかけあわせることが重要だが、相互の分野の間には未だ大きな垣根が存在する。そこで本シンポジウムでは、「反転対称性の破れ」をテーマに、物理および化学の分野でご活躍されている先生方をそれぞれお招きし、ご専門とする研究内容および最新の成果を紹介いただくことで、相互の研究動向の理解を促すとともに、分野横断的な共同研究の種を生み出すことを目指す。

○講演者リスト（予定、順不同）

谷口耕治 先生（東京工業大学）、須田理行 先生（京都大学）、木村尚次郎先生（東北大学）、秋根茂久 先生（金沢大学）、西原禎文 先生（広島大学）、金川慎治 先生（九州大学）

4. 開催案内：共催企画「錯体化学ホームカミングデー」

錯体化学会にはこれまでたくさんの先輩方が所属してきました。彼らはいま産・学・官をはじめとする広い分野で活躍しています。今回のイベントでは企業に就職して活躍されている錯体化学会のOB・OGがホームである錯体化学討論会に帰ってきます！現役の学生会員と交流する機会を設けましたので企業を知りつつ、錯体化学の経験が社会でどのように生きるのか、この機会に先輩たちにどんどん聞いてみましょう！

もちろん先生方やポスドクの方のご参加も Welcome です！産学交流にご協力ください！

【日時】 2024年9月19日（木）16:00～19:00（予定）

【会場】 長良川国際会議場 国際会議室

【プログラム】

第一部 企業参加者の自己紹介

第二部 交流会（少人数グループに分かれての自由討論）

【参加要件】

討論会参加者はどなたでも本イベントに参加できます。

本イベントを目的に参加される企業からの参加者については、

懇親会と総会を除く錯体化学会討論会の全プログラムを無料で聴講していただけます。

【参加申し込み方法】

一般参加者（学生等）：専用ホームページから事前登録（<https://tiny.cc/jssc74sangaku>）

企業参加者：指定の申し込み様式を利用（下記実行委員にお問い合わせください）

【実行委員会】

実行委員長

大津 博義（産学連携推進委員会委員長、富士通株式会社）

実行委員

大迫 隆男（産学連携推進委員、三井金属鉱業株式会社）

近藤 美欧（若手連携推進委員会委員長、東京工業大学）

楊井 伸浩（若手連携推進委員、九州大学）

吉成 信人（若手連携推進委員、大阪大学）

田部 博康（若手連携推進委員、京都大学）

豊田 良順（若手連携推進委員、東北大学）

堀内 新之介（若手の会、東京大学）

吉田 将己（若手の会、関西学院大学）

深津 亜里紗（若手の会、大阪公立大学）

5. 開催案内：各支部勉強会

【中国・四国支部】（終了しました）

第15回中国四国地区錯体化学研究会・錯体化学若手の会中国・四国支部第7回勉強会

共催：中国四国地区錯体化学研究会

開催日時：2024年5月18日(土) 12:45～

会場：島根大学松江キャンパス 大学会館3階

講演者：船橋 靖博 先生 (大阪大学)、満身 稔 先生 (岡山理科大学)、
御厨 正博 先生 (関西学院大学)、半田 真 先生 (島根大学)、
大学院生によるポスターセッション

世話人：半田真、矢野なつみ、片岡祐介(島根大学)

【北海道・東北支部】（終了しました）

第41回無機・分析化学コロキウム（日本化学会と若手の会東北支部の共催）

開催日：2024年5月24日(金)～25日(土)

会場：蔵王ライザワールド

講演者：満留 敬人 先生(大阪大学)、宮田 潔志 先生(九州大学)、大竹 研一 先生(京都大学)、
福山 真央 先生(東北大学)、根岸 真通 先生(東北大学)、高石 慎也 先生(東北大学)

世話人：芳野 遼、豊田 良順(東北大学)

【関東支部】（終了しました）

錯体化学若手の会・関東支部 2024年度 前期勉強会

開催日時：2024年6月15日(土) 13時受付開始

会場：日本大学・文理学部 世田谷キャンパス 3号館 3407教室

参加費：無料（懇親会費別）

プログラム

13:00-13:20 受付

13:20-13:25 開会あいさつ

13:25-14:10 福井 智也 先生（東京工業大学）

「集合体形成の“pathway”に着目した機能物質創製」

14:10-14:55 藤野 智子 先生（東京大学）

「構造有機化学から考える新しい伝導体材料」

14:55-15:15 休憩

15:15-16:00 山崎 康臣 先生（東京大学）

「金属錯体を用いた光触媒的小分子活性化反応」

16:00-16:45 池本 晃喜 先生（東京大学）

「ナノカーボン分子合成から始まる錯体化学」

16:45-16:50 閉会あいさつ
17:45- 懇親会 (2時間程度)
世話人：北尾 岳史 (東京大学)

【近畿支部】

錯体化学若手の会近畿支部 第66回勉強会

開催日時：2024年8月24日(土) 13:00～

会場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス G号館301室(講演会)302室(ポスター会場)

参加費：無料(懇親会費別)

プログラム

12:30-13:00 受付
13:00-13:05 開会挨拶
13:05-13:50 井上 僚 先生 (兵庫県立大学)
13:50-14:35 秋吉 亮平 先生 (関西学院大学)
14:35-14:50 休憩
14:50-15:50 大木 靖弘 先生 (京都大学)
15:50-16:00 写真撮影、ポスター発表準備
16:00-17:30 ポスター発表
17:30 閉会挨拶
終了後、懇親会

世話人：吉田 将己、秋吉 亮平 (関西学院大学)

6. 錯体化学若手の会 2023年度会計および会員状況報告

ソニーグループ 大津 博義

<収入>	執行額	備考
前年度繰越金	¥1,572,405	学生会員分 (他 2 名分は 2022 年度払込済) 一般会員年会費相当分
年会費	¥251,000	
錯体化学会からの移算	¥116,000	
受取利子	¥2	
収入計	¥1,939,407	
<支出>	執行額	
夏の学校支援金	¥200,000	
討論会シンポジウム支援金	¥60,000	
支部活動支援金	¥220,000	
会議費 (2 回分)	¥27,500	第 2 回では使用せず
会員管理アルバイト謝金	¥0	アルバイト使用せず
通信費・振込手数料	¥990	
支出計	¥508,490	
差引残高	¥1,430,917	

○支部別の会員数動向 (2024年3月18日現在)

支部名	会員数 (前年度増減)	会費納入者数
北海道・東北	34 (+3)	34
関東	128 (-3)	128
北陸	8 (±0)	8
中部・東海	25 (+4)	25
近畿	119 (-5)	119
中国・四国	22 (+5)	22
九州・沖縄	32 (-7)	32
不明・海外	1 (-1)	1
合計	369 (-4)	369

(会員数内訳：一般 116 名、学生 253 名)

7. 会員の最新論文紹介



遠藤健一, Asif Raza, Liang Yao, Samuel Van Gele, Andrés Rodríguez-Camargo, Hugo A. Vignolo-González, Lars Grunenberg, Bettina V. Lotsch (Max Planck Institute for Solid State Research, Germany)

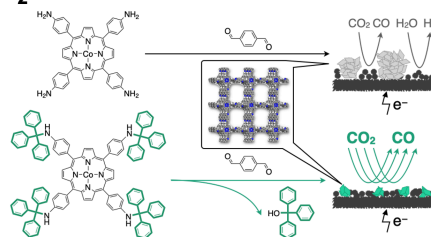
Downsizing Porphyrin Covalent Organic Framework Particles Using Protected Precursors for Electrocatalytic CO₂ Reduction

Adv. Mater. **2024**, 2313197.

<https://doi.org/10.1002/adma.202313197>

ポイント

- ・錯体化学と保護基に基づく方法で、コバルトポルフィリンCOFのナノ粒子化に成功した
- ・ナノ粒子化によってCOFの電気化学的CO₂還元触媒能が大幅に向上することを発見した



錯体化学若手の会では、会員内での情報共有と学生会員のエンカレッジを目的として、2018年度より会員の発表した論文を X (旧 Twitter (@sakutai_wakate)) およびニュースレターで紹介しています。論文の掲載が決定された方は、是非本コーナーへの寄稿をお願いします。皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。

掲載の条件

若手の会会員による最近の論文（およそ半年以内）であり、論文の PDF データがオンライン掲載され、DOI が割り当てられていること

投稿要領

若手の会問い合わせフォーム（下記 URL または QR コード）よりダウンロードしたテンプレートに論文情報を入力し、フォームの各項目にご記入の上、投稿してください。なお、投稿前に必ず指導教員の許可を得てください。

<https://goo.gl/forms/u0RhxuK0cjsq9m3O2>



担当（2024年度）

三澤 智世（上智大） [t_misawa\[at\]sophia.ac.jp](mailto:t_misawa[at]sophia.ac.jp) ([at]を @ に変えて下さい)

8. 錯体化学若手の会 入会のご案内

本会は、錯体化学会の部会として錯体化学に関連した分野で研究を行っている若手の研究者（大学・企業・研究所の研究者）および大学院生・大学生の交流・情報交換を通して、自らの研究に対する情熱と知識を高め、エンカレッジする会です（2023年度の会員数369名）。錯体化学に関心のある学生または40歳以下の方であれば、スタッフ・企業人・大学関係者等の所属や身分を問わず、どなたでも入会いただけます。日本全国の同世代の研究者と知り合い、研究の視野を拡げるためにも積極的に本会を利用して下さい。（Slackでの活動については、若手の会への入会を義務としておりません。是非、皆様の周りにも参加をおすすめ下さい。）

会員特典と活動内容

- 夏の学校の開催（会員は参加費の割引あり）
- 支部・地区単位での勉強会の開催
- 若手の会 X（旧 Twitter）アカウントにおける会員の論文紹介
- 錯体化学若手の会ニュースレター（年3回）の配布
- 錯体化学会討論会への学生参加登録資格と学生講演賞／ポスター賞の応募資格
- 錯体化学会誌（BJSCC）電子版の配布
- 若手の会および錯体化学会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- 若手の会および錯体化学会メーリングリストによる情報発信

入会手続き

若手の会の会員は一般会員と学生会員の2種類からなり、それぞれ入会手続き方法が異なります。会員区分を問わず年会費は¥1,000（年度区分は4月1日～翌年3月31日）です。錯体化学会の正会員の方は年会費が免除されます。

- 一般会員 若手の会ウェブサイト「問い合わせフォーム」より事務局へご連絡ください。折り返しご連絡いたします。自動更新されるため、年度ごとの手続きは必要ありません。
- 学生会員 錯体化学会入会申込ページ (<http://www.sakutai.jp/membership/>) にて手続きください。錯体化学会の学生会員として入会手続きすることで、自動的に若手の会の会員として登録されます。若手の会の年会費（¥1,000）以外に、追加の支払いはありません。

※ 学生会員は自動更新されません。年度ごとに更新手続きをしてください。

登録に際して集めた情報のうち、本人の同意がある情報については錯体化学会の会員限定コンテンツにて閲覧可能になります。平成17年4月より「個人情報保護法」が施行になったため、以上をご理解いただいたうえ会員登録の際に名簿への記載に関して同意いただけるかどうかを必ず明記ください。詳細は若手の会ウェブサイトを参照または事務局までお問い合わせください。